

栄養学科 履修系統図

〈学部共通科目〉

◎学習・教育目標

必修科目

選択科目

科目群の学習・教育目標

1年次
前期

後期

2年次
前期

後期

3年次
前期

後期

4年次
前期

後期

人間と社会
人間存在の意味や人間の尊厳・内面・行動など、人間についての理解を深めるとともに、情報化・国際化の進展する社会に対応できる多様な文化や価値観について学ぶことを目的とする。

心理学
教育原論
法学

日本国憲法

家族関係論

スポーツ科学 I

スポーツ科学 II

哲学・倫理学

国際文化論

人間と環境
人間の築いてきた生活や文化、人間の発生や発達、地球・環境との関係などを自然科学的側面から理解することを目的とする。

物理学
生物学
化学

人間発達学

人間工学

地域社会学

環境論

生活とデザイン

行動科学

人間と情報・コミュニケーション
人間と人間の関わりについての理解とともに、健全な人間関係を形成する知識や技術の修得と、語学を通して自己表現・コミュニケーション能力を身につけることを目的とする。
さらに、現代社会における情報の意味を理解し、情報処理の基本的な知識・技術を身につけるとともに、情報の収集・選択・活用のできる情報リテラシー能力の習得を目的とする。

基礎英語 I

コミュニケーション論

基礎英語 II

実践英会話

医療保健英語

英書講読

中国語

ポルトガル語

スペイン語

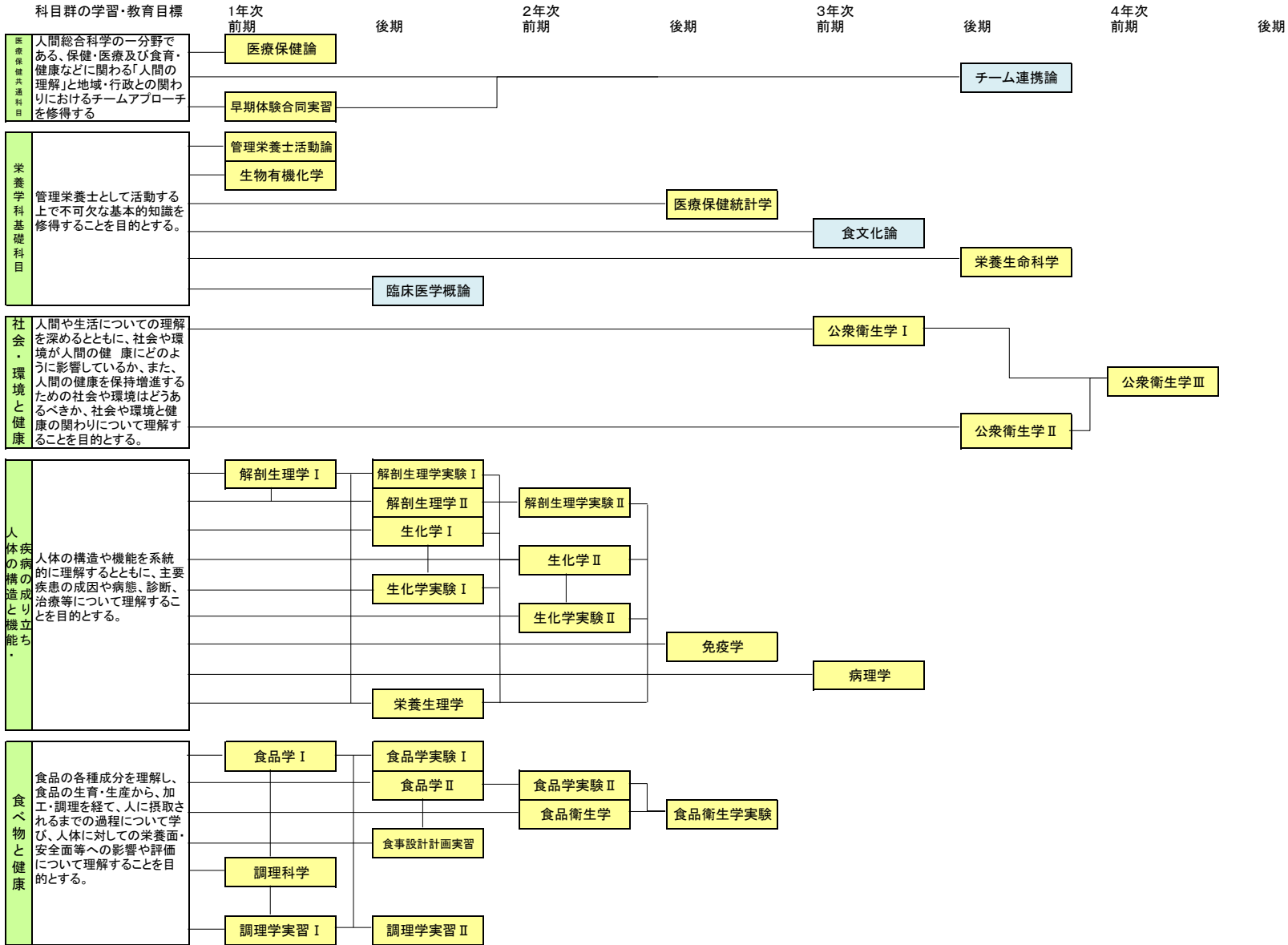
統計学

情報処理基礎演習

情報処理応用演習

文献検索とクリティーク

〈専門基礎科目〉
◎学習・教育目標



〈専門科目〉

◎学習・教育目標

科目群の学習・教育目標

基礎栄養学
 栄養とは何か、その意義を理解し、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割とともにエネルギーや栄養素の代謝とその生理的意義を学ぶことを目的とする。

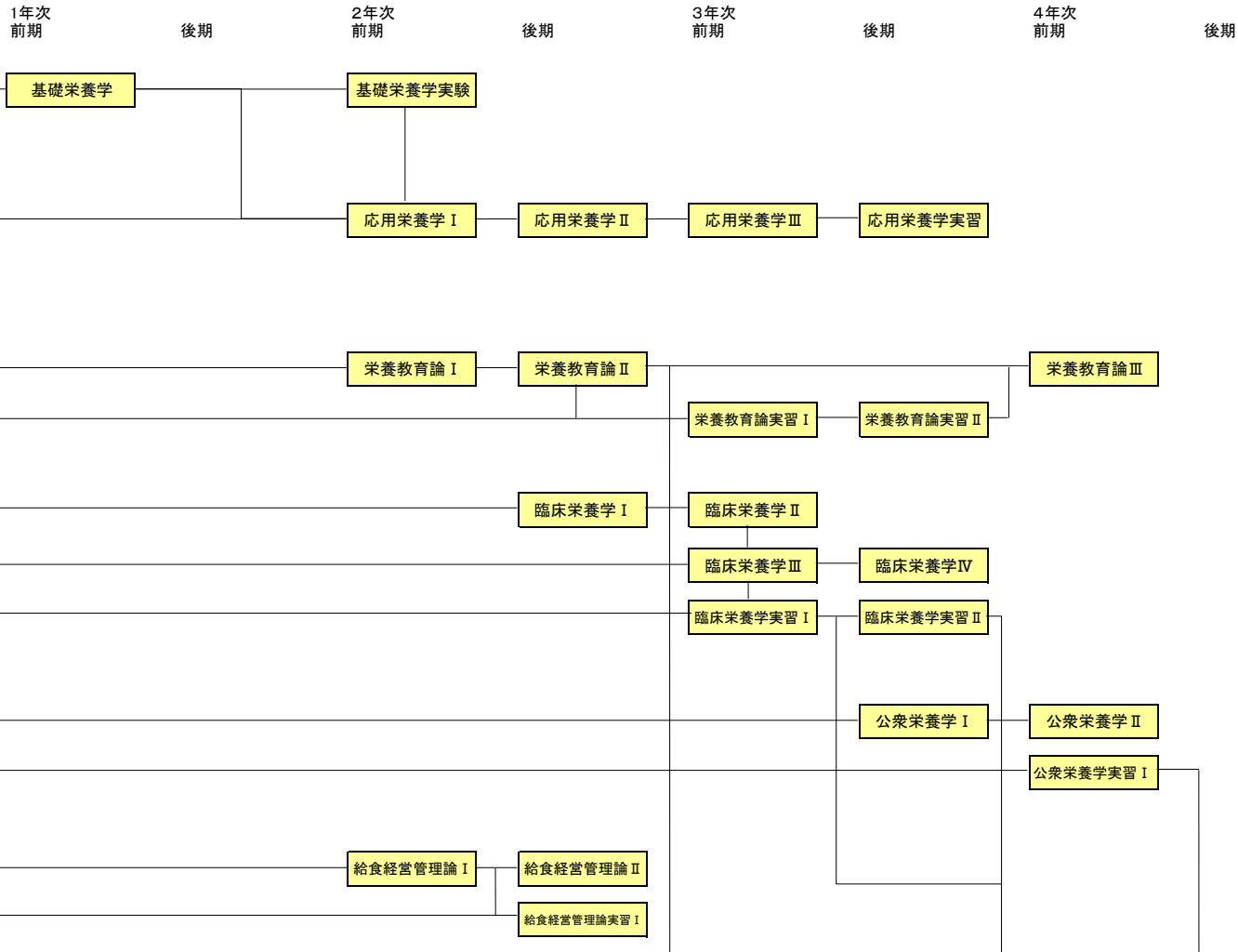
応用栄養学
 身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方や妊娠や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に応じた栄養状態の特徴を理解し、栄養状態の評価・判定（栄養アセスメント）の基本的な考え方や、及び健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等の健康への影響に関するリスク管理の考え方や方法を学ぶことを目的とする。

栄養教育論
 健康・栄養状態、食行動、食環境等の評価・判定に基づき、栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントする能力を養い、そのために必要とされる健康・栄養教育に関する理論と方法を修得することを目的とする。

臨床栄養学
 疾病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行う能力を養い、栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成・実施・評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解し、具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について修得するとともに、医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割を理解することを目的とする。

公衆栄養学
 地域や職場等における保健・医療・福祉・介護システムの栄養関連サービスに関するプログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントする能力を養い、栄養疫学、栄養政策の企画・評価について理解し、社会資源の活用や栄養情報の管理、コミュニケーション管理などの仕組みについて学ぶことを目的とする。

給食経営管理論
 食品の各種成分を理解し、食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程について学び、人体に対する栄養面・安全面等への影響や評価について理解することを目的とする。



総合演習
「管理栄養士給食演習」は、栄養評価・判定に基づいた適正な栄養管理を行うため各教育内容ごとに修得した知識・技能を統合する能力が必要とされることから、専門分野の各教育内容を包含する演習内容の位置づけとした。

臨地実習
「臨地実習」は、内容の充実に努め学内で修得した知識・技術を栄養管理の実践の場に適用し、理論と実践のともなう質の高い管理栄養士の養成を主眼としている

特別演習
専門基礎科目及び専門科目で学習したことから4つの段階にわけ、統合・発展させるため、「特別演習」を設定した。

選択科目
実践的な管理栄養士として活躍するため、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を身につけるため、管理栄養士として不可欠な知識・技術を学習する必修科目に加えて、学修する。

